

R4 年度個別学力検査等  
英語 (A) 出題の意図

I

(A)

飼い主には後ろめたそうに見える犬の表情について、科学的にはどのように分析できるかを説明した一節である。高等学校レベルで学ぶ語句や文法・構文を確実に習得したうえで、意味を的確な日本語で表す力を試すものである。

(B)

人の社会において宗教が担う役割の変遷について述べた文章が題材となっている。本文で使用されている語彙や句の意味を文脈の中で適切に把握する力や同格節、関係節、省略を含む構文といった文法項目の理解力を問うている。

II

人の手の仕組みやその能力について類人猿の手との比較を交えて論じた文章を題材としている。文中に出てくるやや高度な語彙の意味を与えられた文脈の中で適切に把握する力を試す問題、段落間の繋がりを十分に理解した上で文章全体の内容を的確に把握する問題、与えられた英文の内容を自分なりの言葉を用いて適切に表現する問題等が出題されており、受験生の総合的な英語力を試すことを目的とした問題となっている。

III

機械や AI が人の代わりをすることが増えた現代において、それらが取って代わることができない仕事は何かを適切な例を挙げながら指定された語数の英語で説明できるかどうかを問う問題である。語彙力・構文力に加え英語らしさを備えた英語で明確かつ論理的な文章を書く能力が試される。

IV

(A)

宇宙に溢れている偶然について論じた論理的な文章を題材としている。関係節や仮定法等の基本的な文法事項を適切に用いて英語の文章を構成する力に加えて、原文の論理展開やニュアンスを的確な英語で表す能力を試している。

(B) (イ) (文学部の志願者)

言葉を介したコミュニケーションについて論じた文章を題材としている。平易だが比較的長い文章を、従属節や関係節を適切に用いて表現するとともに、日本語と英語の表現法の違いを理解して、論理の流れを明確に自然な英語で表す能力を試している。

(ロ) (文学部以外の学部の志願者)

進路の選択のように岐路に立った際の心構えについて登山を例に挙げて述べている文章が題材である。文章の趣旨を十分に理解した上で、その内容を英語で適切に表現するために必要な語彙力や文法能力が備わっているかを問うている。